



平成22年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申込書

1. 申込団体の概要および申込事業の計画等【公開対象】

ふりがな		やまこしゆうこうかい	
団体名		山古志有広会	
代表者氏名		(肩書: 総監督) 関 克史	
設立年月日		昭和 <input type="radio"/> 平成 <input checked="" type="radio"/> 21年 4月 1日	構成員数 13人
設立目的		本会は、やまこしありがとう広場開催を通して山古志地域と他地域の交流・振興を図るとともに、地域文化、産業の向上発展に資することを目的とする。	
これまでの活動実績		平成21年度 ・やまこしありがとう広場の開催(闘牛大会開催日にあわせて計8回) ・10. 23メモリアルありがとう広場の開催 ・新潟国体身障者スポーツ大会でのサテライト広場の開催(3日間) ・やまこしありがとう広場および、地域情報掲載チラシの作成	
添付資料	事業計画	・別添「第3号様式 事業計画書」のとおり	
	収支予算等	・別添「第4号様式 事業の収支予算書」のとおり	
	その他、団体をPRするパンフレット等	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 (どちらかに○印)	

2. 申込団体の連絡先等【公開、非公開を選択※】

事務所所在地		長岡市山古志竹沢甲2835	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ 非公開
電話・FAX番号等		電話 59-2301 FAX 59-2302 Eメールアドレス yamakoshi-vc@festa.ocn.ne.jp	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ 非公開
担当者連絡先		氏名 井上 洋 住所 長岡市山古志竹沢甲2835 電話・FAX番号等 電話 59-2301 FAX 59-2302 Eメールアドレス yamakoshi-vc@festa.ocn.ne.jp	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ 非公開
添付資料	名簿またはこれに類するもの	・別添のとおり	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ 非公開
	規約またはこれに類するもの	・別添のとおり	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ 非公開

※ 個人情報保護の観点から、広く公開してもよいものなら“公開”に、そうでないものは“非公開”に○を付けてください。

※ 2の添付資料(名簿類・規約類)については、交付審査の際の資料として審査関係者に提出する必要があります。



事業計画書

事業名	地域連携と情報発信整備事業
事業実施の目的	<p>山古志地内では様々な集落・住民活動が盛んになってきている。一方で、各活動が連携を図りながら「山古志」として情報発信を行い、また、来訪者を受け入れる環境整備が途上である。このような現状に対して、各活動や来訪者の交流の場を提供し、地域としての情報発信コンテンツを整備・提案することで、集落・住民活動の更なる活性化と、住民が主体となった地域運営の必要性と可能性を模索したい。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・やまこしありがとう広場の開催 ・地域情報発信のためのホームページ作成 ・広場および、ホームページ機能の将来的運用の仕組みづくり
事業実施までのスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 《やまこしありがとう広場の開催》 <ul style="list-style-type: none"> ・闘牛大会開催に合わせて実施 ・10.23に合わせて実施 《山古志ホームページの作成》 <ul style="list-style-type: none"> ・山古志支所、地域委員会、住民会議等と連携した検討会の実施(7～9月) ・ホームページの作成(10月) ・ホームページを活用した情報発信(随時) 《広場、HPの将来的運営仕組みづくり検討》 <ul style="list-style-type: none"> ・広場機能の引き継ぎ検討(随時) ・ホームページ機能の引き継ぎ検討(11月～3月)
地域活性化の波及性	<ul style="list-style-type: none"> ・広場を通じた集落・住民活動の連携意識の向上 ・広場を通じた交流活動の促進 ・集落・住民活動だけでは難しい情報発信による活動の活性化 ・震災の風化防止など、新しい地域づくりの活性化 ・山古志地域としての連帯感の獲得

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
地域コミュニティ事業補助金(F)		500,000	
自己 資金	会費	65,000	@5,000×13人
	繰越金	85,000	前年度繰越金
特定 財源	寄附金	0	
	参加費	0	
	その他収入金	0	
	小 計(D)	0	
その他		0	
合 計		650,000	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
補助 対象 経費	需用費	32,000	山古志有広会活動広報チラシの作成 (@40×200部×4回)
	役務費	28,000	イベント時保健所申請費用(@4,000×7回)
	委託料	500,000	ホームページ制作委託
		70,000	広場駐車場警備委託(@5,000×2名×7回)
	小 計(C)	630,000	
補助 対象 外 経費	備品購入	20,000	ワンタッチテント(@10,000×2張)
	小 計(B)	20,000	
合 計(A)		650,000	

地域コミュニティ
事業補助金申込額

下記(F)の額を記入

5

0

0

0

0

0

円

【地域コミュニティ事業補助金申込額算出の基礎】

支出の部合計(A)		補助対象外経費(B)		補助対象経費(C)
650,000円	－	20,000円	=	630,000円

事業を実施することによって得られる収入のうち、 補助対象経費に充てるもの		特定財源(D)
	=	0円

(C)－(D)＝補助金算出対象額		補助金額(E)
630,000円	× 補助率 80%	= 504,000円



・千円未満切捨て
・上限 50 万円

地域コミュニティ事業補助金(F)

500,000円

※ 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。

山古志有広会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、山古志有広会という。

(目的)

第2条 本会は、やまこしありがとう広場開催を通して山古志地域と他地域の交流・振興を図るとともに、地域文化、産業の向上発展に資することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- やまこしありがとう広場(イベント)の開催
- 地域産業の育成及び促進
- 地域産業に関する物産の宣伝、紹介
- その他本会の目的達成に必要な事業

第2章 組織

(組織)

第4条 本会は、目的に賛同する会社、団体、個人をもって組織する。入退会規約については別に定める。

(役員任期)

第5条 役員任期は1年とする。ただし、再選を妨げない。

第3章 運営

(会議)

第6条 本会の会議は、総会とし、毎年1回定期に開催する。ただし、必要と認められるときは、臨時に開くことができる。役員会は、随時開催する。

(会議の成立)

第7条 会議は、構成員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(議決の方法)

第8条 会議の議決は、出席者の過半数の同意によって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(議決事項)

第9条 総会において議決すべき事項は、次のとおりとする。

総会

- ア. 規約の変更
- イ. 収支予算並びに事業計画
- ウ. 収支決算並びに事業報告
- エ. 会費に関する事項
- オ. その他必要と認める事項

役員会

- ア. 定期総会以外に必要と認められる事項

第4章 会計

(経費)

第10条 本会の経費は、会費、補助金、寄附金、その他の収入をもってあてる。

(会費)

第11条 会員は、毎年会費を納めるものとする。ただし、総会の議決によりこれを課さないことが出来る。会費の額及び納付の方法は別に定める。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

山古志有広会団体名簿

会員（兼役員）

役名	氏名	備考
山古志ありがとう広場総監督	関 克史	代表
// 総隊長	松井 富栄	
// 大奥総取締役	関 裕子	監査
// リーダー	長島 大輔	
// 座長	佐藤 正徒	
// 海賊王	今井 雅広	
// 総務長	井上 洋	事務局
// 統領	渡辺 友栄	
// プリンセス	佐野 玲子	
// アンバサダー	杉原 由紀子	
// 工場長	高林 春華	監査
// 総支配人	今井 勇一	
// 番長	平澤 東	

※山古志有広会会員は、全員が『やまこしありがとう広場』の役員であり、参加者と協働し、広場および、山古志地域の振興に貢献する